

安堵橋あんどのはし帷子辻かたびらがつじの西にあり。むかし清涼寺せいりやうじのほとり火災に及ぶ、赤梅檀しゃくせんたんの香か比叡山ひえいざんに薰ず。大衆大いに驚て嵯峨に奔る、

此所にて尊容に過なきを聞て安堵す。是より名づけ初めしとぞ」

甲塚かぶとつか〔安堵橋の左にあり。むかし火の雨降し時諸人こゝに隠るといへり、中に岩窟あり〕

油掛地蔵あぶらかけのぢざう〔橋の西にあり。諸人願望の時油をかけ祈なり〕